



第2時限(14:25~15:55)

ぎふ名橋ものがたり

紅林 章央 氏

くればやし・あきお 東京都道路整備保全公社  
道路アセットマネジメント推進室長。元東京都  
橋梁構造専門課長。1985年に名古屋工業大学  
を卒業後、東京都入庁。奥多摩大橋、多摩大  
橋をはじめ多くの橋や新交通「ゆりかもめ」の建  
設に携わる。中日新聞で「ぎふ名橋ものがたり」  
執筆中。著書は『HERO』『橋を透して見た風景』  
(都政新報社／土木学会出版文化賞受賞)な  
ど多数。



落成セル中橋ノ景 『飛騨写真画報』第2巻、1925より

令和6年

3月9日(土)

午後1時30分~午後4時

飛騨高山まちの博物館

〒506-0844

高山市上一之町75

TEL:0577-32-1205

FAX:0577-35-1970

machihaku@city.takayama.lg.jp



Instagram



Facebook

# 橋 の 壺

題字 三野島凌雲

飛騨の過去と  
未来をつなぐ橋

令和五年度第四回語り部養成講座



第1時限(13:35~14:15)

飛騨地域の橋梁  
造る技術と守る技術

大崎 義保 氏

おおさき・よしやす 高山市出身。国土交通省  
中部地方整備局高山国道事務所副所長。  
岐阜工業高等専門学校土木工学科を卒業後、  
1992年に建設省中部地方建設局に入省。愛知  
県内の名豊道路や長野県内の三遠南信自動  
車道など中部地方各地の道路の計画、設計、  
施工を担当するほか、現在は国道41号と中部  
縦貫自動車道の橋梁やトンネルの設計・施工  
に携わる。



『令和3年度 中部縦貫下切高架橋PC上部工事』より

岸恵子と佐田啓二の「君の名は」、メルル・ス  
トリープとクリント・イーストウッドの「マディソン  
郡の橋」。洋の東西を問わず橋は様々なもの  
をつなげる重要なものであり、そこではたくさ  
んのドラマが生まれました。

特に山がちで川が急峻な飛騨では生活に橋  
が不可欠です。橋の建設がその周辺の経済  
状況を大きく左右する事もありました。また、  
橋を渡る人だけではなく、橋の建設にあたって  
は建設を望む人、計画する人、設計する人、  
施工する人など多くの人が関わりました。現在  
建設中の中部縦貫自動車道も我々の暮らしを  
大きく変えることでしょう。

橋の建設や構造などから、それらに関わった  
人々の歴史や思いの分かる講座です。

- 下のQRコードからロゴフォームで申込、もしくはまち博まで電話ください。
- 定員80名。
- 定員を超えた場合は抽選。
- まち博ボランティアの方が優先されます。
- 2時限ともご参加ください。

入場無料  
要申込

2/27(火)まで

